

1. 科目名 (単位数)	福祉心理学 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP3334
2. 授業担当教員	大住 誠		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	福祉では、支援を必要とする人々を対象として支援を行う。かつては児童が中心であったが、青年期、中年期、高齢期と生涯発達の視野の中で、その援助が考えられるようになった。福祉現場で生じる問題及びその背景、福祉現場での心理社会的課題及び必要な支援方法、特に、虐待、認知症に関する必要な支援方法について学ぶ。		
8. 学習目標	生涯発達の中で、どのような問題が発生するか、その問題は発達とともにどのように変化してゆくか、それに対応した心理福祉的な支援について説明できるようになることを目指す。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	レポート課題 1 : 児童虐待への心理的対応と多職種との連携について述べよ。 レポート課題 2 : 高齢者の認知症への心理的対応と多職種との連携について述べよ。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 中島健一編『福祉心理学』遠見書房 2,600 円。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ①福祉心理支援職の対象となる各分野における福祉心理的支援について理解し、説明することができる。 ②福祉・介護分野における多職種協働と心理職の位置づけを理解し、説明できる。 ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢 20%、試験 40%、課題レポート 40%で判断する。		
12. 受講生へのメッセージ	心理学は福祉における大切な柱である。公認心理師は単独で活動することもあるが、他職種との協働の機会も多い。この点をよく理解しよう。		
13. オフィスアワー	時間割が決定していないので、授業で知らせる。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業の進め方とオリエンテーション	事前学習	シラバスを読み、教科書に目を通しておく。
		事後学習	福祉における心理学の意義について考える。
第 2 回	福祉の歴史と現在の福祉施策の概要	事前学習	福祉の歴史と現在の福祉施策の概要を読んでおく。
		事後学習	福祉施策の問題点について考える。
第 3 回	総論：生活を支える心理支援	事前学習	総論：生活を支える心理支援を読む。
		事後学習	生活を支える心理支援について考える。
第 4 回	暴力被害者への心理支援	事前学習	暴力被害者への心理支援を読む。
		事後学習	暴力被害者への心理支援のポイントについて考える。
第 5 回	高齢者へ心理支援	事前学習	高齢者へ心理支援を読む。
		事後学習	高齢者へ心理支援のポイントについて考える。
第 6 回	障害・疾病のある人への心理支援	事前学習	障害・疾病のある人への心理支援を読む。
		事後学習	障害・疾病のある人への心理支援のポイントについて考える。
第 7 回	生活困窮者への心理支援	事前学習	生活困窮者への心理支援を読む。
		事後学習	生活困窮者への心理支援とは何か考えてみる。
第 8 回	児童虐待への心理支援の実際	事前学習	児童虐待への心理支援の実際を読む。
		事後学習	児童虐待への心理支援の実際の難しさについて考える。
第 9 回	子どもと親への心理支援の実際	事前学習	子どもと親への心理支援の実際を読む。
		事後学習	子どもと親への心理支援と親子関係を考える。

第10回	認知症高齢者への心理支援の実際	事前学習	認知症高齢者への心理支援の実際を読む。
		事後学習	認知症高齢者への心理支援の実際と限界を考える。
第11回	ひきこもり・自殺予防の心理支援の実際	事前学習	ひきこもり・自殺予防の心理支援の実際を読む。
		事後学習	ひきこもり・自殺予防の心理支援の実際と限界を考える。
第12回	精神障害者への心理支援の実際	事前学習	精神障害者への心理支援の実際を読む。
		事後学習	精神障害者への心理支援の実際の現状を調べる。
第13回	家族・職員への心理支援の実際	事前学習	家族・職員への心理支援の実際を読む。
		事後学習	家族・職員への心理支援の実際での心理職の働きとは何かを考える。
第14回	福祉・介護分野での多職種共働と心理職の位置づけ	事前学習	福祉・介護分野での多職種共働と心理職の位置づけを読む。
		事後学習	福祉・介護分野での多職種共働と心理職の位置づけを考える。
第15回	全体のまとめ	事前学習	これまでの授業を振り返り、整理する。
		事後学習	福祉における心理支援の意義をまとめる。